

第6学年 道徳科学習指導略案

2022年1月22日(土)

1 主題名 輝く命 D 生命の尊さ

2 教材名「希望の絵」

3 ねらい

よりよく生きようとする人間の良さを見だし、人間として生きる喜びを感じ取ろうとする心情を育てる。

4 指導内容

	○発問	◆指導上の留意点
導入	○これまでの自問ジャーナルや自学の取り組みを振り返ってみましょう。	◆これまでの自問ジャーナルや自学の取り組みを紹介し、「学ぶこと」や「振り返ること」など成長にかかわる活動が人間の大きな特長の一つであることをおさえ、ねらいへの導入とする。
展開	<p>教材文「希望の絵」を読んで、話し合う。</p> <p>○テレジン収容所で生活を送っていた子供たちはどんな思いで毎日を過ごしていたと思いますか。</p> <p>○フリードルの授業を受けて、子供たちはどんなことを感じていたと思いますか。</p> <p>○毎日を輝かせるために大切なことはどんなことだと思いますか。</p> <p>○今日の授業を受けて、どんなことを感じましたか。</p>	<p>◆生きる希望を失った子供たちの気持ちを想像させ、希望なく生きることのつらさに共感できるようにする。</p> <p>◆フリードルの授業を受けたり、言葉を聞いたりすることが生きる希望につながっていることや、前向きに生きることのかけがえのなさについて考えられるようにする。</p> <p>◆多様な意見が出せるようにする。</p> <p>◆スクールタクトに学習感想を書いて、互いの考えから学習内容を深められるようにする。</p>
終末	教師の説話を聞く。	<p>余韻をもって終われるようにする。</p> <p>【評価の観点】 「毎日を輝かせるために大切なこと」を考えることで、よりよく生きようとする気持ちをもつことができたか。 生きる喜びについて考え、スクールタクトに記すことができたか。</p>

6の1



テレジンの収容所での生活を強要された子供たちの気持ちや、そんな子供たちに描くことの素晴らしきとともに生きる希望を伝えたフリードル・ディッカーの気持ちを想像しながら命を輝かすためにどんなことを考えるといいのかを話し合いました。支えてくれている人たちへの感謝や互いを思いやる気持ちの大切さについて考えながら、自分たちの幸せについて考えることができました。

6の2

テレジン収容所での厳しい生活の中で、フリードル・ディッカーとともに絵を描いた子供たちの気持ちを深く想像し、よりよく生きていくためには何が大切か考えていきました。初めて知る収容所の様子に驚きながらも、自分の命を輝かせるためには、『周りの人を大切にする』『勉強を頑張る』『物事を前向きに捉える』など、何が大切でどんな行動が必要なのか一人一人が考えることができました。



6の3



収容所の辛い生活の中で、明日に希望をもち、楽しいと思える授業を行ったフリードルの授業を受けた時の感動に共感する子供たちの感動に共感する児童が多くいました。自分たちの日々を輝かせたり、楽しいと思える毎日を送るために何が大切か考え、『好きな勉強を進める』『好きなことを楽しむ』など、自分たちの『好き』を突き詰めたり、求めたりすることが大切なのかもしれないと考えることができました。